

第8回 3つのイベント合同共催で大いに賑わう いっちみろやふれあい祭

オータム
フェスタ
Autumn festa
2016



あゆっこ隊の力強い太鼓演奏



セレモニー開催前には、
野地餅つきグループの餅つき実演が

平成28年11月13日(日)開催のオータムフェスタ2016「第8回いっちみろやふれあい祭」は、まったく雨の心配をすることなく、いつものように延岡すみれ太鼓”あゆっこ隊”“の力強い演奏で幕を開けました。

朝も早くから、おじいちゃん、おばあちゃんに手を引かれた子供さんたちも会場に姿を見せてくれ、これが市民の祭りだなと感じられ、とても嬉しい幕開けでした。

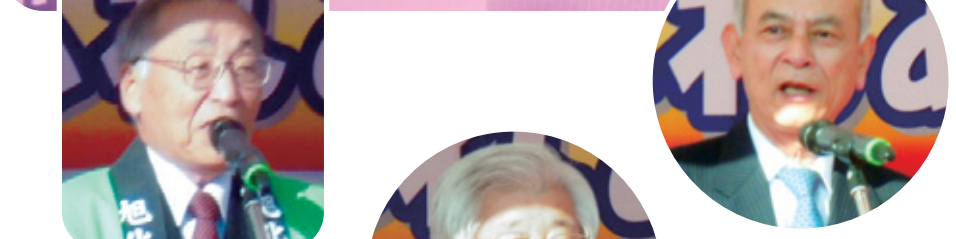
今回は、全国あかりサミット、城山神楽、私たちのオータムフェスタと3つのイベントを共催できたことで、前夜の12日(土)の夕刻から13日(日)にかけて城山周辺が大賑わいとなり、延岡市民の皆さんから“延岡の文化”を大いに楽しんで頂けました。

市役所駐車場、野口記念館、カルチャープラザ、城山公園の4会場を訪れるお客様から“駐車場がないよ”のうれしい悲鳴があったと報告がありました。

今年の来場者は7,500人でした。

オープニングセレモニー

市役所駐車場のメイン会場・野外ステージでの城山神楽との合同オープニングセレモニーは、主催者挨拶を高橋延岡OB会会長、山崎城山かぐら実行委員会会長から、ご来賓挨拶を杉本延岡副市長、清本延岡商工会議所会頭、山添旭化成延岡支社長からいただいたあと、佐藤延岡市議会副議長、亀山延岡市区長連協副会長、後藤旭化成労働組合中央執行委員長、特別ゲストは昨年に引き続き旭化成キャンペーンモデル山下永夏さんも加わり9名でテープカット。最後に佐藤延岡市議会副議長の音頭により、お酒とお茶での“乾杯”をしてオータムフェスタ2016がスタートしました。



延岡OB会高橋会長あいさつ



山崎城山かぐら会長のあいさつ

野外ステージでのセレモニーの最期を飾る「城山かぐら祭り」の神楽舞い込みは、城山かぐら20回記念による時間的制約から出来ませんでした。が、“来年はきっとやります”との山崎会長のお話がありました。

県内外24団体の明かりが城山周辺を彩った「第10回全国あかりサミット in のべおか」(12日夕、延岡市の城山北側駐車場)

城山神楽まつり17保存会が競演

第20回城山かぐらまつりのフィナーレ、「岩お越し」には子どもたちも参加(13日、延岡市城山北公園二ノ丸広場)

3イベント相乗効果 12・13日 城山周辺大にぎわい 延岡

延岡市は、12・13日にかけて「第10回全国あかりサミット in のべおか」と「第20回城山かぐらまつり」の2つのイベントを合同で開催し、城山周辺で大いに賑わった。

12日の夜、城山北側駐車場に集った約24団体の明かりが、城山周辺を彩った。延岡市は、このイベントを「第10回全国あかりサミット in のべおか」として、延岡市と延岡市周辺の自治体で合同で開催している。

13日の朝、城山北公園二ノ丸広場に集った約17団体の明かりが、城山周辺を彩った。延岡市は、このイベントを「第20回城山かぐらまつり」として、延岡市と延岡市周辺の自治体で合同で開催している。

延岡市は、この2つのイベントを合同で開催し、城山周辺で大いに賑わった。延岡市は、この2つのイベントを合同で開催し、城山周辺で大いに賑わった。

夕刊デイリー新聞 11月14日(月)の掲載記事

舞台上の山下永夏さん



四倉フラダンスの演技

延岡 3催し連携

延岡市・城山公園とその周辺で12・13日、「第10回全国あかりサミット in のべおか」「城山かぐらまつり」の2つのイベントを合同で開催し、城山周辺で大いに賑わった。

12日の夜、城山北側駐車場に集った約24団体の明かりが、城山周辺を彩った。延岡市は、このイベントを「第10回全国あかりサミット in のべおか」として、延岡市と延岡市周辺の自治体で合同で開催している。

13日の朝、城山北公園二ノ丸広場に集った約17団体の明かりが、城山周辺を彩った。延岡市は、このイベントを「第20回城山かぐらまつり」として、延岡市と延岡市周辺の自治体で合同で開催している。

延岡市は、この2つのイベントを合同で開催し、城山周辺で大いに賑わった。延岡市は、この2つのイベントを合同で開催し、城山周辺で大いに賑わった。

宮崎日日新聞 11月8日(火)の掲載記事



イベント開始と同時に買い物に殺到するお客様

山下永夏さんと盛り上がるジャンケン大会、 エンディング「小田矢かなさん特別出演、餅まき」も大好評



九保大生がエイサーを披露



ジュニアリーディングの演技に観客も拍手喝采



熱唱中の「小田矢かな」さん



エンディングの餅まきに殺到

野外ステージでは、17項目のプログラムが繰り広げられました。毎年お願いしている平尾理美さんの、テンポよい出演者紹介によって、フラダンス・ヒップホップダンス・ベリーダンス・大正琴、カントリーダンス、チアリーディング・ウクレレ・エイサー太鼓とお馴染みとなった人たちの演技が次々と繰り広げられていきました。今回初めて登場したグループは「天聖&優奈とHit★Girls」で、とても張り切って歌い、踊ってくれました。

そして、エンディングには日向市出身の相変わらず元気のいい、かわいい歌手小田矢かなさんが野外ステージに特別出演、お馴染みの「漁師の娘」を歌い上げてくれました。小野加寿英さんの「男はつらいよ・延岡の寅さん」が出演者の中で唯一旭化成OB、他はすべて延岡市民の皆さんでした。市民の皆さんが楽しんで出演して頂ける祭りです。

二度にわたるジャンケンゲームに登場していただいた山下永夏さん、餅まきにもハッスルして貰った小田矢かなさん、今年もご苦労様、ありがとうございました。

突きたて餅、延岡学園の洋菓子が完売 軽トラ市・バザー・加工食品の売れ行きも好調

軽トラ市では、今年も天候不順に泣かされながらたくさんの「新鮮野菜」を準備して頂いて感謝です。ジャンケンゲームでは新鮮野菜、延岡学園の学生さん手作りの素晴らしい商品をゲットして大喜びのお客様で盛り上がりました。

突き立て餅は早々に完売、延岡学園の洋菓子も完売。国技館の弁当も早々と売り切れて、お客様からクレームが出てしまう状況も見られました。良い天気に恵まれて「かき氷」「ソフトクリーム」のお店の前はおお客様の列で混雑していました。それぞれに販売が好調だったようです。品物を準備いただいたお店の方々にお礼を申し上げます。



新鮮な野菜を求め軽トラ市賑わう



「仲よしこよし会」のバザーも盛況



休憩用テント内でステージに見入る沢山のお客様



加工品販売にも多くのお客様

カルチャープラザ作品展に絶品が大集合

11月12日(土)、13日(日)の2日間の作品展に200点を超える作品等が展示されて、延べ900人を超える入場者でした。愛宕OB会の佐藤理事グループの皆さんの連続3回目の担当で、延4日間にわたるご苦労に応える力作が訪れる人たちのため息を誘っていました。

今回も「私の好きな作品3点」投票、投票が済んだ方への「ラッキー賞（抽選）」の提供が企画されて、投票用紙を片手に会場内を念入りにチェックされていましたが、作品の素晴らしさと適度な作品展示スペースの確保などへの賛辞が幾度となく聞こえてきました。

来年に向けた出品作品制作、出展へのご協力をお願いいたします。



オープニングセレモニー



生け花、写真、水彩画も展示



本物と見間違ふほどの粘土花



プロ顔負けの作品

野口記念館では桂 歌春師匠の独演会と 小田矢かなさんの歌謡ショー

野口記念館では、今回初めて桂 歌春さんに落語の独演会をお願い致しました。年季の入った語り口に、心地よい笑いを聞かせていただきました。少し空席が見える中で、「これは出演者の私の責任、次はもっと頑張ります」と三輪担当理事に心配りをしておられたようで、さすがにプロ芸人の一端を見たように思います。次の機会にはもっと沢山の入場者が期待できるのではないのでしょうか。オータムフェスタでは、「笑い」を基本にしてきました。すでにオータムフェスタ2017での笑いを検討開始しました。

歌謡ショーでは小田矢かなさん2回目の出演。一段と人気もアップしての登場でした。小さい体からパンチのある歌声でお客様を満足させてくれたようです。これからは、延岡市民のハートをしっかり掴んで、何度でも来てほしい歌手になっていくことを願います。



歌春独演会の様子



「小田矢かな」さんとスタッフ

“オータムフェスタ2016”を終えて(次回オータムフェスタ2017は平成29年11月12日に実施)

ここ数年にない秋晴れのなかでのイベント開催となりました。昨年よりも若干多いお客様にきていただいたと思います。更に多くのお客様を呼べるイベントにするには何が足りないのか。その分析、対応策を検討することになります。ただ、「延岡市民の秋祭り」として市民に親しまれ始めたことは実感できますし、そのことが私たち旭化成延岡OB会の主催する祭りの基本であることを感じております。そして、3つのイベント同時開催による延岡市民へのPR効果、そのことを報じる夕刊ディリー新聞社をはじめマスコミ各社の好意による紹介記事には大感謝でした。

20回記念城山かぐら「九州大会」で、日本の伝統文化の奥深さ、技を磨く、伝承する絶え間ない努力に立脚した神楽の神髄を見させていただきまし

た。城山かぐら20回を支えてこられた山崎会長の言葉「がんばらず、あきらめず」に祭りを続けていくための信条・信念をみたように思います。祭りの意義、祭りの在り方に大きな示唆を得たのは私だけではなかったように思います。私たちは、これから第10回オータムフェスタ2018を目指し、その後も祭りを続けていくことを願っています。これからも旭化成延岡OBスタッフの皆さんと手を携えていきたいと考えます。今回は大変ご苦労様でした。そして、今後ともよろしくお願いいたします。

また、旭化成労組および旭化成延岡支社の物心両面にわたるご配慮に、そして、一般市民の皆様、延岡市の行政機関の皆様のご協力に深く感謝し、お礼申し上げます。